

4 職業的自立を高める生涯学習

個人が経済的に自立するとともに、個人の能力を磨き、社会的なつながりを持って生活していく上で、職業は大変重要な意味を持っています。

小・中・高等学校等では、職場体験やインターンシップ等の実施を通して、子どもの健全な職業観・勤労観を醸成し、将来、職業生活への円滑な移行ができるよう準備を進めるとともに、若年求職者等に対しては、相談・セミナーの実施等による就職支援の充実に努めます。

また、工業高校や高等技術専門学校、農業大学校などにおいては、地域産業を担う人材を育成するとともに、労働者や農業者等の職業能力向上のために教育訓練・研修などの学習機会の充実に努めます。

さらに、社会人が職業に必要な知識・技能等を大学等高等教育機関で学ぶことができるよう、リカレント教育を一層推進していきます。

(1) 若者等に対する職業意識・職業観の醸成

【現状と課題】

- 若者の雇用環境の悪化は、少子化を加速する一因となるとともに、産業経済にも大きな影響を及ぼすこととなります。若者の就職難や早期離職の原因の一つに、就労意識の希薄さや職業観の確立が不十分であることが挙げられ、こうした若者に対して就労意識や職業観の醸成を促すなど、職業的自立に向けた支援が重要となっています。

【施策の展開】

○ キャリア教育の推進

「キャリア教育会議」を設け、有識者、経済団体を交えて、愛知県が進めるべきキャリア教育のあり方を検討します。また、キャリア教育会議の協議を受けて「キャリア教育推進委員会」を開催し、小中学校・特別支援学校におけるキャリア教育を円滑に進めるための方策を検討するとともに、高等学校においては、県内14地域でキャリア教育地域推進会議を開催し、インターンシップ等の円滑な実施方策や学校教育に求める人材育成について協議を行い、学校現場におけるキャリア教育に活用します。

○ モノづくりの体系的な体験活動の推進

小学校高学年の児童が、モノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から「仕事に対する心構えや努力していること」などの話を直接聞くことにより、

働くことや学ぶことへの基盤をつくります。

また、中学校2年生を中心に、全ての中学校で5日間程度の職場体験等を行い、子どもたちが将来の生き方について真剣に考え、働くことや学ぶことへの意欲の向上を図ります。

○ インターンシップ等の推進

学校生活で学んだことを生かし、職業生活へ円滑に移行できるよう、全ての全日制県立高等学校において、インターンシップ等の体験活動を推進します。また、各教科の専門分野におけるプロフェッショナルな人材を専門高校等に招いて、より高度な知識・技術についての指導を受け、職業観・勤労観の醸成に努めます。

○ 特別支援学校における体験活動の推進

特別支援学校の小学部では社会参加活動や校外学習などを通して働くことに対する興味・関心を高め、中学部では就労の準備体験として地域の職場見学や簡単な作業などの体験を行い、高等部では産業現場等における長期間の実習を行うなど、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

○ 就職相談・就職力の向上

「ヤング・ジョブ・あいち」において、若年求職者及びその家族を対象とした就職に関する相談、職業観の醸成や就職力を向上させるためのセミナー等を実施し、若者への就職支援を行います。

ヤング・ジョブ・あいち

企業や学校等の協力のもとで、県と愛知労働局が連携して運営する若者の就業総合支援施設であり、就職に関する情報提供から職業紹介までの総合的なサービスをワンストップで提供しています。

(2) 職業能力の向上

【現状と課題】

- 労働力人口が減少する中、労働者一人一人の能力を高めることが求められていますが、資金や人材、ノウハウなどに限界があり、労働者の職業能力向上に個別に対応していくことが困難な企業が少なからず存在しています。
- 食料・農業・農村を取り巻く社会情勢の変化と農業技術の進歩は著しく、社会の変化に対応していくために、農業者は経営改善に関する知識や技術、技能を習得していく必要があります。

【施策の展開】

○ 地域の産業を担う人材の育成

工業高校の教育課程に、地域の企業との連携プログラムを組み込むことにより、学校と地域、企業とが連携した実践的な技術習得の仕組みを確立し、地域の産業を担う人材を育成します。

○ 職業能力向上の機会提供

労働者の職業能力向上のため、愛知県職業訓練会館の会議室を企業等が行う教育訓練の実施場所として貸し出すとともに、職業能力開発協会が同会館で行う教育訓練の実施経費に対する補助等を行い、協会の行う生涯訓練の一環としての体系的、段階的な職業訓練の支援を行います。

また、技能労働者の職業能力開発を支援するため、高等技術専門校において、職業に必要な知識・技能を習得するための訓練等を実施していくとともに、ホームページの充実等情報の周知に努めます。

○ 農業大学校における研修活動の充実

農業大学校において、農業を担っていく者を対象に経営改善に関する知識・技術・技能の研修を行い、農業にかかる学習機会の充実に努めます。

また、食料・農業・農村に関する研修にも努め、開かれた農業大学校として、食料等に対する正しい知識の普及を図ります。

(3) リカレント教育の推進

【現状と課題】

- 社会の成熟化に伴い、学習ニーズが拡大するとともに、情報化・国際化の進展や科学技術の進歩など社会経済情勢が大きく変化する中、企業人材の高度化やキャリアアップ、若者の就業能力の向上、子育てに一段落した女性や高齢者の社会参加促進など、社会人の学び直しの必要性が高まっています。

【施策の展開】

○ 社会人の学び直しの支援

リカレント教育推進会議などを通して、大学等高等教育機関に対して公開講座等の実施や社会人受入等の充実を働きかけるとともに、高等教育機関と地域が連携して社会人が利用しやすい学習機会を提供するなど、社会人の学び直しを促進する環境づくりを進めます。

○ 「学びネットあいち」による情報発信

社会人等の高度で多様な学習ニーズに応えるため、生涯学習情報システム「学びネットあいち」において、大学等高等教育機関が実施する通信教育や公開講座などの情報発信ができるよう機能の強化を図ります。

○ 県立大学における高度で専門的な知識を有する職業人の育成

- ・ 現職の教員等が、自信と誇りを持って教壇に立ち、児童生徒を適切に指導することができるよう、定期的に講習を行い、教員等が最新の知識・技能を身に付けられるようにします。
- ・ 療養生活の質の維持向上等に寄与し、水準の高い看護実践を提供できる認定看護師を養成していきます。
- ・ 愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）に開設したサテライトキャンパスを活用し、ポルトガル語スペイン語を母国語とする者に対する医療現場や日常的な場面でのコミュニケーション支援のために、外国人受診者とのコミュニケーション能力やポルトガル語スペイン語の基礎を習得した者に対して、より高度な医療通訳に必要な能力の習得を行います。